

※注意：こちらの文書は過去のもので、
現在は有効ではありません。

平成 25 (2013) 年 7 月 24 日

日本内視鏡外科学会 (JSES) の内視鏡手術支援ロボット導入条件の遵守喚起

一般団法人日本内視鏡外科学会
理事長 北野 正剛

平成 24 年 4 月から腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術にロボット支援手術が保険適用されたことを受けて国内での手術支援ロボット導入施設が急速に増加しているが、そのなかには日本内視鏡外科学会が提言した内視鏡手術支援ロボットを安全に導入・普及させるための 7 条件を満たさない施設もあると認識している。前立腺以外の手術で薬事承認を受けた領域については保険診療承認に向かって学会としても道筋をつけるべく関連学会と共同して努力している。

関連学会の専門医、日本内視鏡外科学会の技術認定取得者にあっては安全な手術を普及することを目的としたこの提言を尊重していただきたい。

<参考>

- 1) 平成 21 年 12 月 3 日 「新医療機器に関する見解」

https://www.jses.or.jp/uploads/files/about/teikan/shiniryokiki_20121206.pdf

これは内視鏡手術支援ロボット：da Vinci Surgical System が医療機器として承認される際に、その安全な導入を企図したものであり、承認条件となった製造販売業者による教育プログラムの提供について、その内容作成の協力をしている。

- 2) 平成 23 年 7 月 19 日 「日本内視鏡外科学会 (JSES) の内視鏡手術支援ロボット手術導入に関する提言」

https://www.jses.or.jp/uploads/files/about/teikan/robot_20120815.pdf

安全に内視鏡手術支援ロボット導入・普及させるためには満たすことが望ましい 7 条件を挙げた。この提言中、腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（前立腺摘出術）以外で薬事承認がおりている領域では関連学会の専門医取得および日本内視鏡外科学会の技術認定取得を推奨してきた。